



2021/5/15 第58回全日本合気道演武大会(高崎アリーナ)

理事長より

二度目の夏 — 第58回全日本合気道演武大会を終えて

2020年2月、最終準備に入っていた、植芝塾設立100周年記念綾部大会が延期されてから、二度目の猛暑下に突入しました。ため息をつきながらも、今耐え抜くことが明日につながると団結した夏は終わり、二度目の夏はやはり身体に堪えません。

5月15日、群馬県高崎市、高崎アリーナに於いて第58回全日本合気道演武大会が開催され、無事に終了致しました。

毎年、日本武道館に1万人に近い合気道家が全国から結集していた大会は、昨年は中止。今年は演武者と大会関係者200名弱で、徹底した感染対策のもと実施されました。

大会10日前からの体温、体調管理はもちろんのこと、会場には間隔を空けた動線も設定され、演武時の90秒~120秒以外、会場内はマスクの着用が義務付けられていました。参加者同士の会話も徹底して制限された空間にあって、久しぶりに出会った道友たちと交わすたった一言の挨拶「お世話になります」「遠路ありがとうございます」に込められた思いは、開会式での植芝守央道主のご挨拶にも滲み出ていました。

合気道を止めてはいけない、この1年間、そしてこれからも続く感染症との戦いに、合気道家はどのように挑み、賢く行動し、改革をしてきたのか、そしてしていくのか。

ガランとした会場に響き渡る進行アナウンスと、演武者の受けが畳を叩く、弾けるような音だけがこだまする。シンと静まり返った高崎アリーナは、終始透明な緊張感が漂っていました。

京都府合気道連盟では、昨年11月府連大会を断念しました。そして、このような状況下でも、できる限り連盟加盟団体との繋がりを切らさないよう、書面でのご報告を継続してきましたが、やはり稽古交流の出来ない中での限界も感じています。

来る8月28日、府連理事会／評議員会を開催いたします。第5波の感染事情も踏まえ、皆様にはご無理のないよう、ご希望の方はご参加下さい。

2021年8月

岡本洋子

京都府合気道連盟は2011年2月、東日本大地震直前に発足しました。

あれから10年、世界的パンデミックという感染症の自然災害の中にあっても、府連各道場の活動は続いています。

私たちの活動と合気道への思いを、ささやかな形として残していくために、万誠館道場、南先生のご提案による10周年小冊子を仕上げていきたいと思っています。詳細は8/28、理事会にて。(岡本)

NO. _____
DATE _____
コロナ禍に「一筋のあかり」を
合気道 府連の皆さんへ

昨年来より新型コロナウイルス感染拡大は
世界各国に及び異常な事態となっています。

私共京都府連に於ても大会の中止を決定
京都の誇りとする「旧武徳殿」での畳の感觸
も遠のき、各道場稽古実施には、感染防止
対策に工夫をされご苦労されていると察します。

府連盟では、20余道場の加盟設立にあたり
稽古仲間の交流と共に組織の充実や運営等
意見の交換を積み重ねて

京都らしい連盟を目指して参りましたところですが
皆さんのご協力により10年の、節目を迎える
こととなり大変嬉しく感謝を申し上げます。
これを機に稽古仲間として共有するものや、お考えを
ご提案をいただき今後の活動に加えて貰え
ましたらと願っています。 拝

令和3年 6月 吉日

南 道雄

2021年5月15日(土)に京都府連の代表として、第58回全日本合気道演武大会に参加してきました。

本来は2020年に行なわれるはずでしたが、2020年に予定されていたすべてのイベントと同じように、1年延期になりました。しかし、1年経っても東京都は緊急事態宣言で、本部道場での稽古ができない状況になるとはまったく予想外の出来事でした。「間際まで本大会は開催できるか危ぶまされておりました」と道主が開会挨拶でおっしゃるほど、開催できたことは本当に奇跡でした。いつもの日本武道館(東京都千代田区)であれば、また延期になっていたでしょうけれども、会場は群馬県の高崎アリーナに決まっていたから可能になりました。

第58回全日本合気道演武大会はいろんな意味で特別な大会になりました。いつもと違う場所で、いつもと違う形で開催されました。感染対策を徹底して、規模を大きく縮小し、無観客でしたので、当日はいつもの賑やかな雰囲気とはほど遠い、凛とした空気が漂っていました。しかし、「現在の状況でできる精一杯の形であり、前へと進む意義のある大会にしていけない」と道主が強調されたように、1年半ぶりに日本中の合気道家が集まる機会になりました。

私にとっても、特別な大会になりました。これまで、全日本合気道演武大会に何回も参加したことはありましたが、京都府連



の代表としては初めてでした。合気道を始めたのは南仏の小さな道場ですが、ちょうど20年前に大学生として来日して以来、ずっと京都で稽古を積み重ねてきました。その経験をすべて出し切り、そして二人の受けを輝かせることが私の取りとしての大きな課題でした。どこまでできたかわかりませんが、「前へと進む」大変貴重な経験になりました。

2020年の春から道場が閉まったりして、自由に稽古ができないような状況が続き、今も続いています。本当に困難で大変な時代を生きていると思いますが、90秒という一瞬の演武で合気道をする楽しさと喜びを表現できたなら光栄です。



2021/5/15
高崎アリーナにて

Upcoming events

行事日程

- 8月28日(土) 令和3年度第一回理事会/評議員会
13時15分~15時
於:京都支部道センター第1会議室
- 11月7日(日) 令和3年度府連大会 於:武徳殿

